



令和5年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



夏休み直前号

皆様との連携に感謝

校長 小倉 孝行

4月からの4か月間、子どもたちは自分で立てた目標に挑戦し、日々の生活の中でたくましく成長してきました。皆様の子どもたちへのご指導に感謝いたします。

今月上旬、4年生は学校で宿泊キャンプをしました。私はキャンプファイヤーでの子どもたちの姿を見て、涙が出ました。それは「マイム・マイム」(ダンス)のときです。4年生は火を中心に円になり、曲が流れ始めると、手をつないでこれまで練習してきたダンスを一生懸命踊りました。すると、参観に来ていた家族や兄弟姉妹等、そばにいた5、6年生や中学生、高校生が自然と輪の中に入り、4年生と手をつないで「ハイ!」と掛け声を言い踊り始めました。ほんの1分ほどの出来事です。炎にたらされた子どもたちの横顔は、幸せにみちた表情でした。曲が終わり何人かの6年生が「4年生、ありがとう!」「4年生、頑張れよ!」とさけび、すっと、円の外側に出ていきました。その様子を保護者、地域の代表の方々、そして教職員が優しい目で見つめている姿は、なんとも言えない感動がありました。



今年度最後の水泳授業を楽しく子どもたち(3・4年生)

明日から夏休みになります。まとまった長い休みは、子どもが、家庭・地域の中でさらに成長するよい機会です。先日、生麦第一地区の「社会を明るくする運動」(法務省主唱)の集会(生麦第一地区連合会・社会福祉協議会・保護司会主催)に参加いたしました。改めて感じたのは、子どもたちの幸せのため、子どもたちを守るためには保護者・地域・教職員のそれぞれに、やるべきことがあるということです。集会ではご意見として、家庭について「一日一回でも子どもとのスキンシップを大切にする。子どもとの会話や時間を大事にする。」、地域について「大人から子どもにあいさつをする。気になることがあれば声をかけ、学校にも情報を伝える。」、学校について「子ども、保護者に寄り添い、保護者との連携を密に図る。」等のお話がありました。まさにそれぞれの大人が子どもとかかわることで、家庭・地域・学校の連携がより強くなり、子どもの健全な育成につながるのだと思います。夏休み中の子どもたちをよろしく願いいたします。

4月からこれまでどうもありがとうございました。今年も熱中症予防や、基本的な感染症対策が必要な夏になります。皆様と子どもたちの健康と安全を第一に、少しでも思い出にのこる夏をお過ごしください。夏休み明けもどうぞよろしく願いいたします。

校内キャンプでは、保護者の皆様、三麦会の皆様、鶴見消防団第四分団の皆様、元PTA会長の内海征人様、朝日湯様をはじめ地域の店舗の皆様に多くのご協力をいただきました。また、生麦小学校教育後援会の石川建治様、堀池大一郎様にはキャンプファイヤーの木材をご提供いただきました。皆様方に厚く御礼申し上げます。

○「交通事故」「水の事故」等の防止

毎年、夏休みの間、子どもが関わる交通事故が多くあります。幹線道路での事故も発生していますが、一般市道(路地等)が最も多いです。ご家庭でもお子さんに、歩行、自転車運転のときの危険予測、危険回避についてお話しいただき、「交差点で必ず止まって前後左右をよく見る」「飛び出さない」等のお声がけをお願いいたします。合わせて水の事故等、海や河川、プール等での危険性についてもお話しください。

○自転車の盗難に気をつけましょう

鶴見警察署のホームページにある「区内犯罪発生状況」を見ますと、区内で自転車の盗難が多く発生しています。駐輪する際にはカギをかけ、路上等に放置せず管理人のいる駐輪場等、決められた場所に止めるようお願いください。

○SNS等のトラブルの防止

コミュニケーションアプリ(LINE等)やSNS、オンラインゲーム等の利用によるトラブルも、発生しやすい時期です。自撮り写真や個人情報の送信、見ず知らずの人物との連絡先の交換や接触等は非常に危険で、事件に巻き込まれることもあります。お子さんの通信機器の利用状況についてご家庭で把握いただきますようお願いいたします。また、警察庁の統計によると小学生の性被害も増えています。

緊急の際には警察へ「迷わず110番」をしていただきその後、学校へもご連絡ください。